

横浜市議員(都筑区)

望月 高徳



横浜の未来を結ぶ会

政務活動レポート **みんなの声の広場** アンケート版 第1号 討議資料

横浜市は370万人が暮らす日本最大の都市であり基礎自治体です。日本全体では、すでに人口減少時代に入ったといわれていますが、将来人口推計では、本市の人口のピークは2020年頃で、その後、減少に転じると予測されています。年少人口(0~14歳)や生産年齢人口(15~64歳)の割合は減少していきますが、逆に高齢者人口(65歳以上)の割合は増加していきます。人口ピーク時で約25%の高齢化率が2060年頃には、約320万人で35%以上の高齢化率になる見込みです。

生産年齢を中心に、本市の人口が減るとことは、税収が伸び悩むばかりか減っていくと考えられます。今後の日本全体の経済成長見通しは不透明ですが、かつてのような右肩上がりの成長が難しそうなことは、おおよそ予想がつきます。そうなると本市独自の努力による経済の活性化もおおのずと限界があります。

当然そうした社会状況に対する正しい時代認識の下、今をどう過ごすかだけではなくて、将来世代に責任を持った今後の施策の選択と実行、市経営をしていかなければいけないと考えます。

今までは国も地方も、必要なものからそうでないものまで、政治〔議員〕の側があればこれもと行政サービスを安易に提供し、収入に見合わない分は常に問題を先送りして、後年度負担にしてきました。でもそうした行政運営は、限界に来ています。

無駄をなくして、行政効率を向上させ、税金を適切に配分できる横浜市にしなければいけません。医療や福祉、子育てや教育、いろいろな公共建築物の設置や維持管理。必要な施策を行うためにこそ、ありとあらゆることの見直し、仕切り直しが迫られています。行政がすべきことは何なのか考え直し、ひとつひとつの行政サービスについて受益と負担のことを考えていかなければいけない時に来ていると思います。

私はここ横浜を今よりさらに、「生まれて良かった」「子育てをしてよかった」「老後を過ごせてよかった」とすべての世代に喜んでもらえる街に、都市にしていきたいと考えています。あらゆる立場の人にとって、真にバリアフリーな都市にもしたいと思っています。厳しい時代状況ですが、市民の知恵と力を合わせれば大丈夫、必ずできると確信しています。

議会に送り出して頂いて約3年。これまで以上に皆さまの声を「活動の羅針盤」として、なお一層そうした確固たる思いで議員の責務を果たしていきたいと思っています。是非、皆さまのお力をお貸し下さい。ご意見、お声をお聞かせ下さい。

一緒に横浜の未来を創りましょう!

平成26年5月25日 横浜市議員 望月 高徳

勇気ある変革を目指す

望月こうとく

横浜市議員(都筑区)



✦望月こうとく政務活動事務所

TEL&FAX 045-532-9089

E-mail info@khotoku.net

✦くらしの救急ガイド

救急医療情報相談ダイヤル

TEL 045-227-7499

- プッシュ① 救急医療情報センター
- プッシュ② 小児救急電話相談(夜間・休日)
- プッシュ③ 産科あんしん電話



✦横浜市歯科保健医療センター

休日・夜間の歯痛には横浜市歯科保健医療センター

TEL 045-201-7737

郵便はがき
2248790

< 受取人 >

横浜市都筑区中川中央1-24-17
ベールージュスクエア2F

横浜市議員もちづき高徳
政務活動事務所 行



差出有効期限
平成26年12月
31日まで
(切手不要)



▼みなさまの声をお聞かせください。

横浜市政重要

施策アンケート

「未来を結ぶアンケート」にぜひご協力ください。

今後、財政面や都市づくりの面で重要な事業や施策は、まだ事業化決定前の調査・検討段階であってもできるだけ積極的に市民にお知らせし、情報を共有したいと思えます。そしてその時点での皆さまのご意見を確認させて下さい。今回は、下記の4つの施策について皆さまの声をお聞かせください。

1.新市庁舎整備

2020年のオリンピック開催までに6百億円超の建設費をかけ、中区の北仲通南地区に140m級の市庁舎を移転・新設する計画。

- Q1.建設計画のあることを Q2.建設の賛否
- ①知っていた。 ①建設すべき。
 - ②知らなかった。 ②建設すべきではない。
 - ③どちらともいえない。

2.カジノを含むIR(統合型リゾート)構想

カジノを含む各種娯楽施設や国際会議場・展示場などの様々な施設を一地区[現在の山下ふ頭付近]に集め誘客・観光拠点とする構想。

- Q3.IR構想があることを Q4.構想の賛否
- ①知っていた。 ①実現すべき。
 - ②知らなかった。 ②実現すべきではない。
 - ③どちらともいえない。

3.市営地下鉄延伸事業

市営地下鉄の延伸をいくつかの地点で図る構想。特にあざみ野から新百合ヶ丘間。本年度予算に調査費が計上されました。

- Q5.延伸構想があることを Q6.延伸の賛否
- ①知っていた。 ①実現すべき。
 - ②知らなかった。 ②実現すべきではない。
 - ③どちらともいえない。

4.市立中学校給食

学校給食法の精神に則り、全国の公立中学校数の約90%で給食が実施されていますが、横浜市立中学校では給食が実施されていません。

- Q7.給食がないことを Q8.実施の賛否
- ①知っていた。 ①実現すべき。
 - ②知らなかった。 ②実現すべきではない。
 - ③どちらともいえない。

ご質問やご意見のある方は、当欄にご記入の上FAXでお送りください。郵送の際は、はがき表面の記入スペースをご利用ください。

郵便(平成26年12月31日の消印まで料金不要)又はFAXでお送りください。 ※FAXをお持ちの方は、FAXでの送信にご協力をお願いいたします。

FAX 045-532-9089

横浜市政重要施策アンケート

■回答欄には、上記のアンケートの回答番号でお答えください。

| | | | | | | | | | | | |
|-----------|----|----|-----------|----|----|------------|----|----|------------|----|----|
| 1 新市庁舎 | Q1 | Q2 | 2 IR構想 | Q3 | Q4 | 3 地下鉄延伸 | Q5 | Q6 | 4 中学校給食 | Q7 | Q8 |
|-----------|----|----|-----------|----|----|------------|----|----|------------|----|----|

■差し支えない範囲でご記入ください。

| | | | | | | | | | | | | |
|------|-----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|-----------------------------|----|--|--|--|
| フリガナ | | | | | | 性別 | <input type="radio"/> 男 | <input type="radio"/> 女 | 職業 | | | |
| お名前 | | | | | | | | | | | | |
| 年代 | <input type="radio"/> 19歳以下 | <input type="radio"/> 20歳代 | <input type="radio"/> 30歳代 | <input type="radio"/> 40歳代 | <input type="radio"/> 50歳代 | <input type="radio"/> 60歳代 | <input type="radio"/> 70歳代 | <input type="radio"/> 80歳以上 | | | | |
| ご住所 | 〒 - | | | | | | | | | | | |
| お電話 | | | | | | E-mail | | | | | | |

FAXで送信していただける方は >> **045-532-9089** <<

勇気ある変革を目指す

望月こうとく

横浜市議員(都筑区)



＋望月こうとく政務活動事務所

TEL&FAX **045-532-9089**

〒224-0003 横浜市都筑区中川中央1-24-17
ペルージュスクエア2F

＋くらしのガイド

横浜市コールセンター TEL **045-664-2525**

都筑区役所 TEL **045-948-2323**

都筑土木事務所 TEL **045-942-0606**

区休日急患診療所 TEL **045-911-0088**

切り取って
必要の際に
ご利用ください

